

# 学生と共に歩んだ研究生活

リハビリテーション療法学専攻

理学療法学講座

鳥橋 茂子

2014.3.21 最終講義

# 平成18年に保健学科へ移って考え、決めたこと

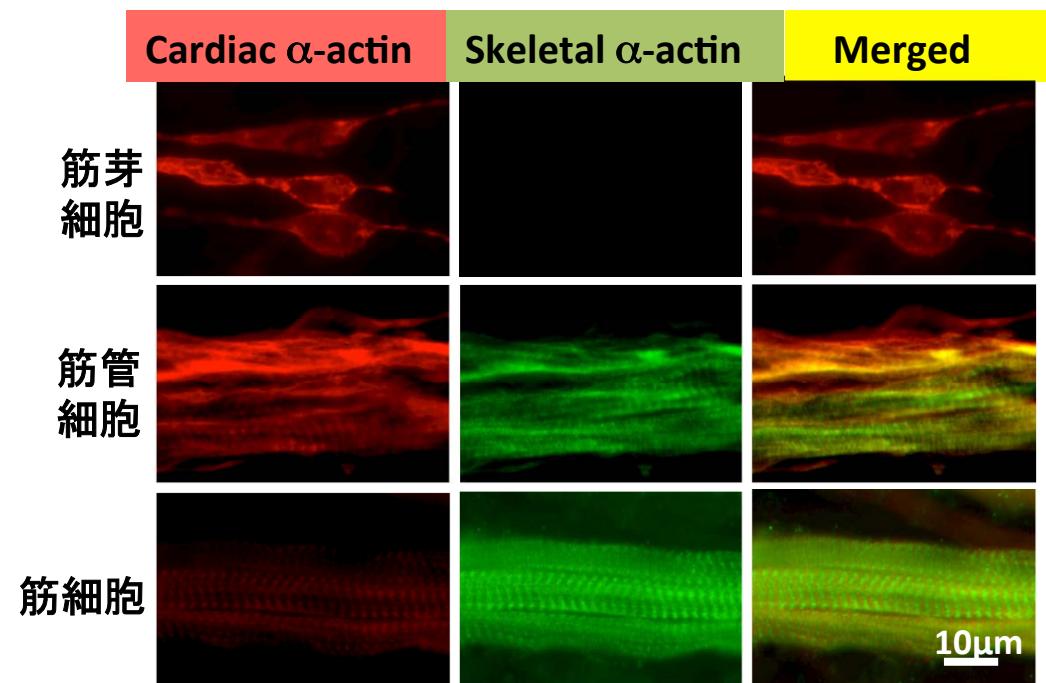
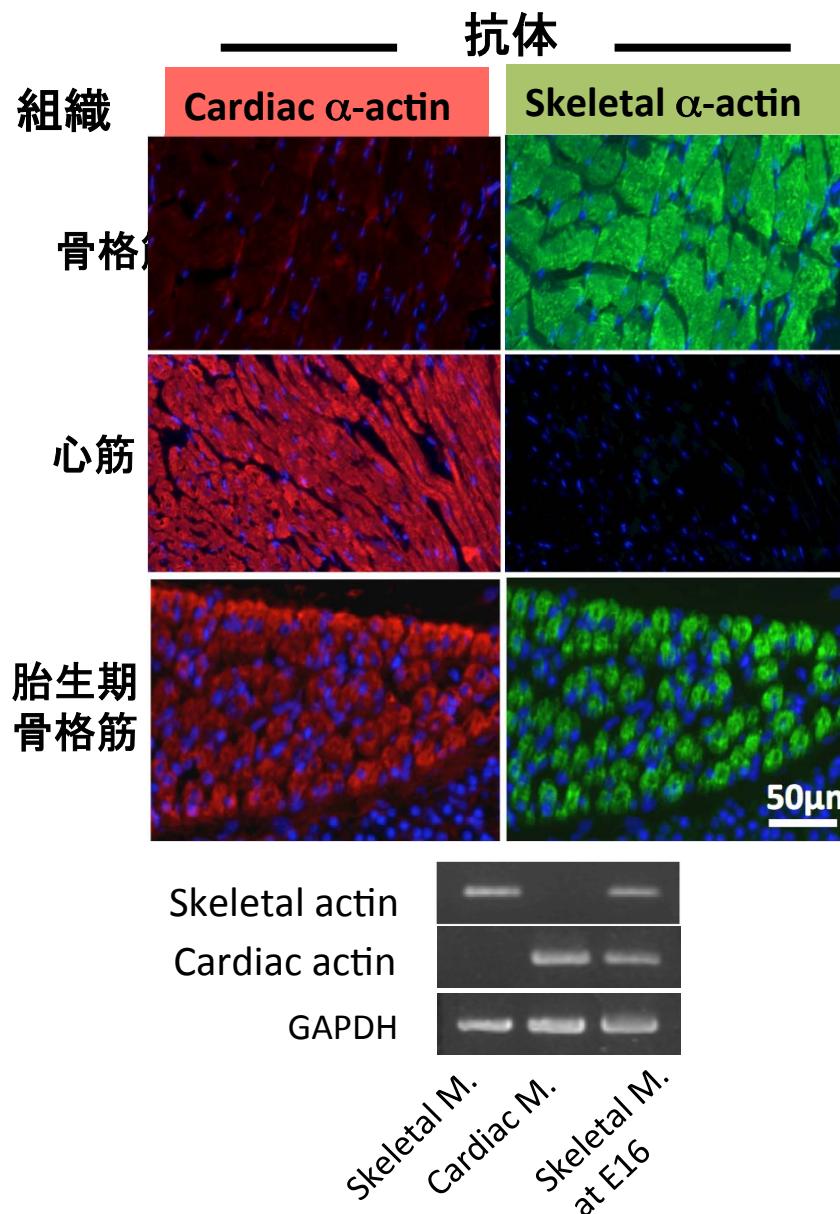
- 実験器機が足りない 獲得研究費でまず器機を購入
- 理学療法学専攻で行っていた実験手技が少なく未熟 大学院ベーシックトレーニング
- 研究を行えるのは自分と学生しかいない 自分も実験に参加し、共に考える
- 論文を書けるのは自分しかいない 学生のやり残しを補い論文にまとめる

学生は優秀で、熱心、体力も充分

消化管の研究よりもES細胞を用いて、学生の希望を取り入れたテーマ考える  
学生を育てることを第一にした

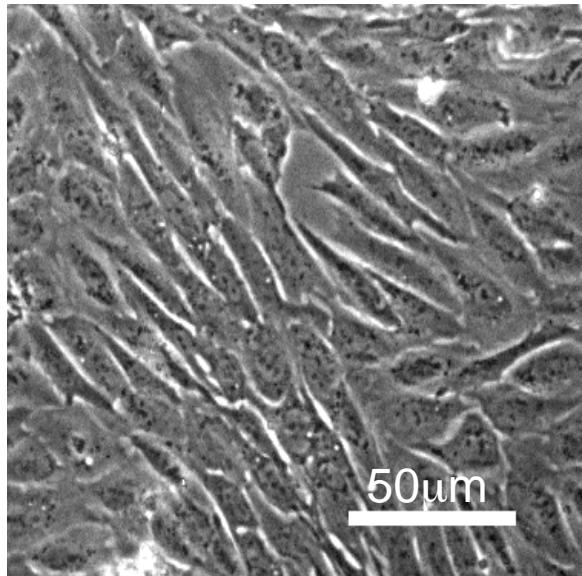
1. 骨格筋分化 :水野、鈴木(松尾) actin isoform
2. 間葉系幹細胞 : MSCs 蟻川(竹中)、八木、中川、村神、磯部、  
TSG6 (平山、小松、永井、帆、川窪)  
ラットiPSCs (蟻川-竹中)
3. 脈管形成 :田中、山本、細江(谷井)  
3次元培養
4. 神経系細胞分化 :河村、小玉、小林、川端、田口  
神経-グリアの分化、直流電気刺激、共培養法

# 1. 骨格筋の研究

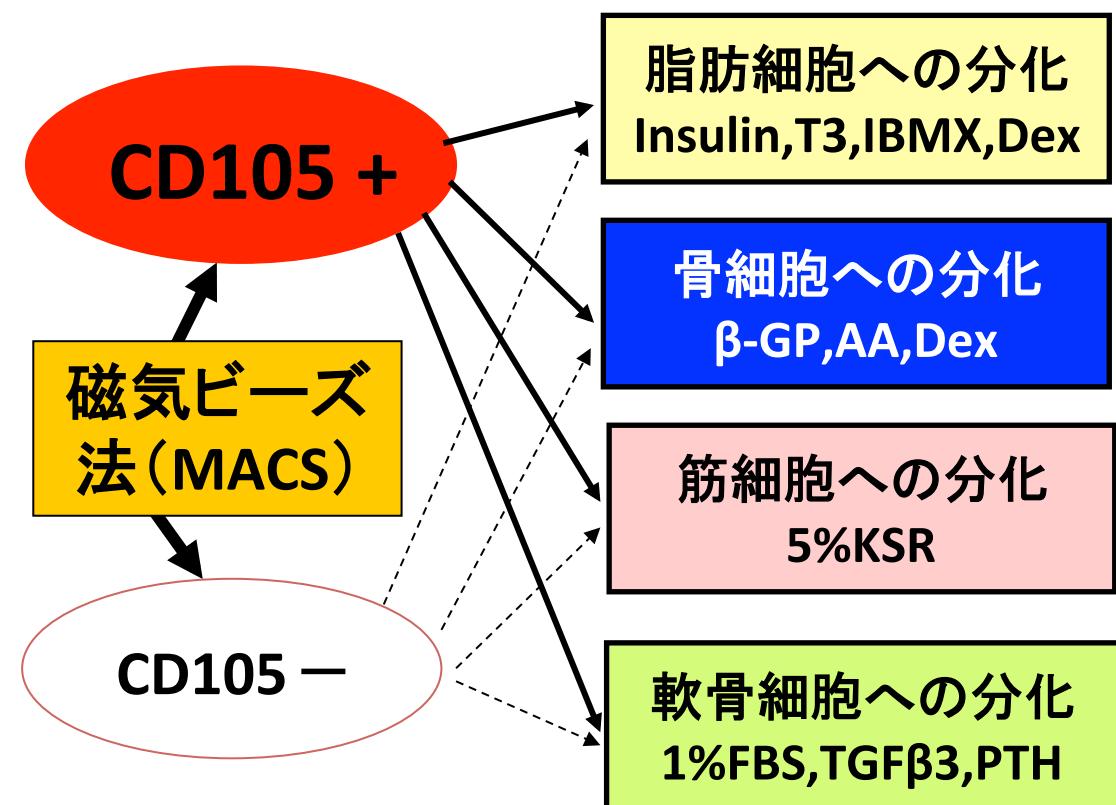


## 2. 間葉系幹細胞の研究

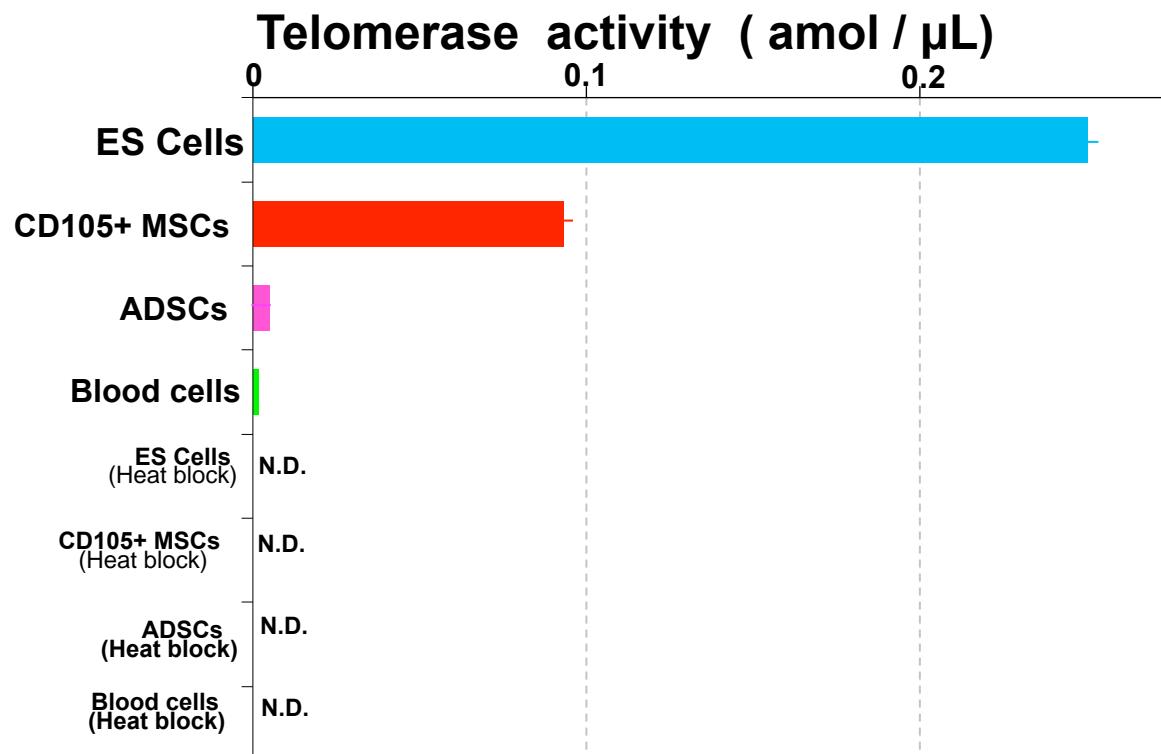
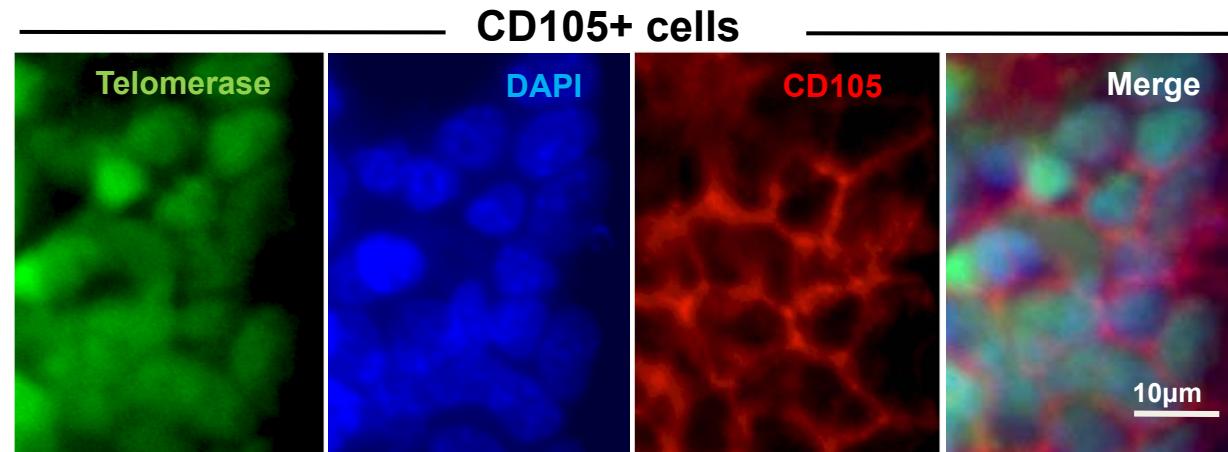
ES細胞から間葉系幹細胞を作る



脂肪細胞への分化誘導  
ES cells →



## MSCsはTelomerase 活性が高い

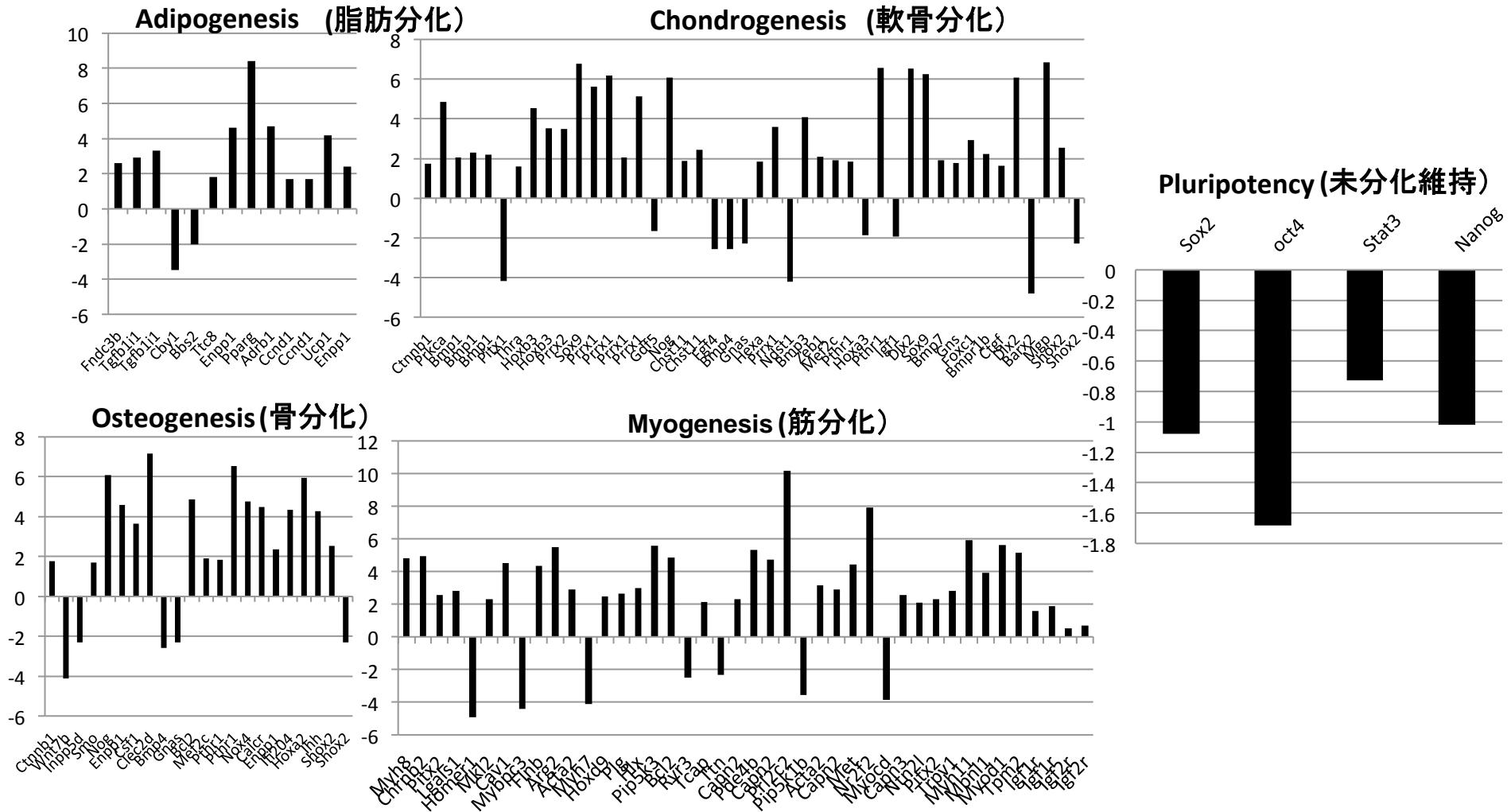


Differentiation 2011年 132巻 6号 669-672p Nana Ninagawa他

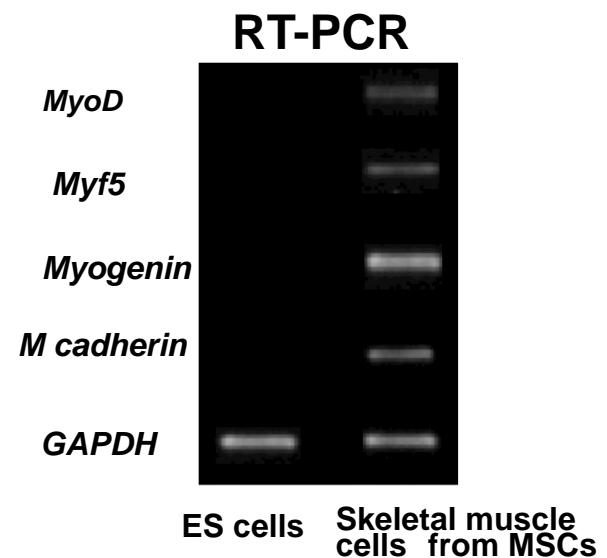
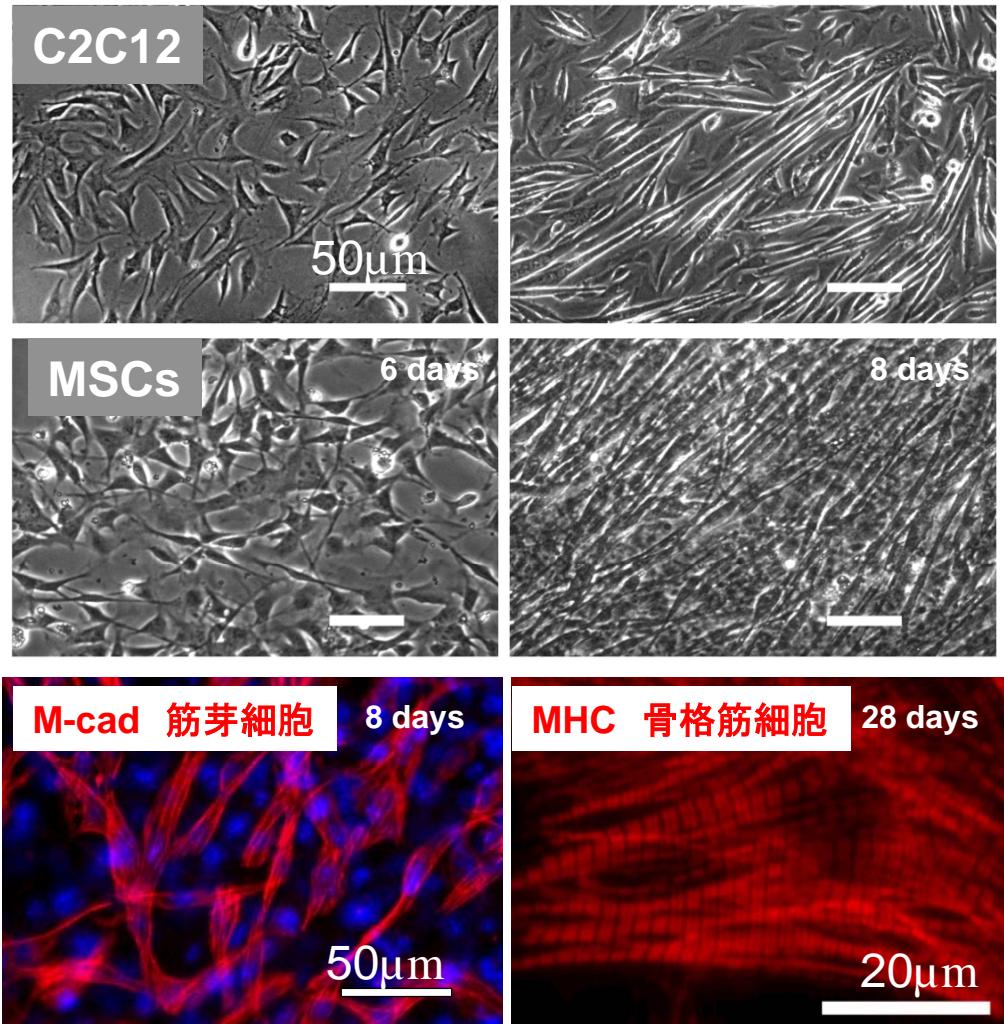
Mesenchymal stem cells originating from ES cells show high telomerase activity and therapeutic benefits

間葉系細胞の分化関連遺伝子発現は高いが未分化維持関連遺伝子の発現は低い

### DNA microarray

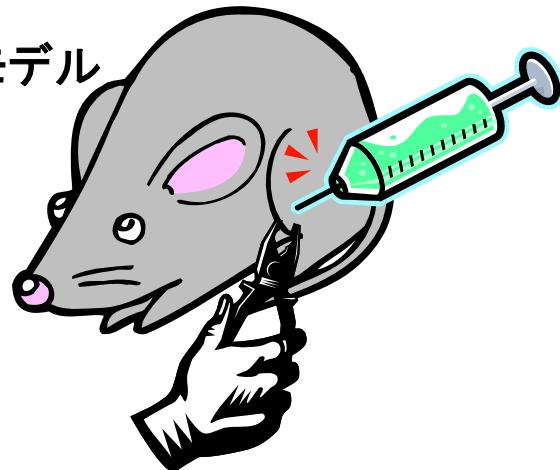


# 間葉系幹細胞の骨格筋分化能

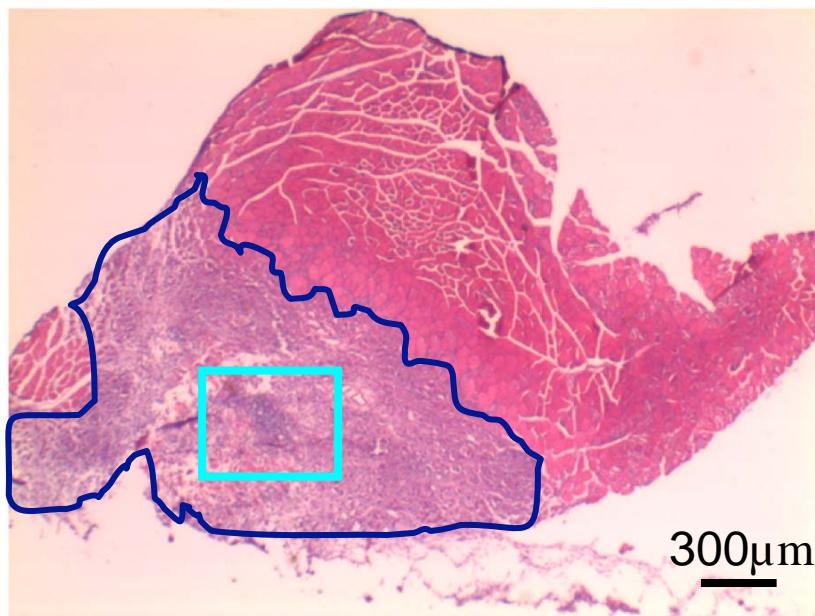


# 間葉系幹細胞を損傷筋に移植する

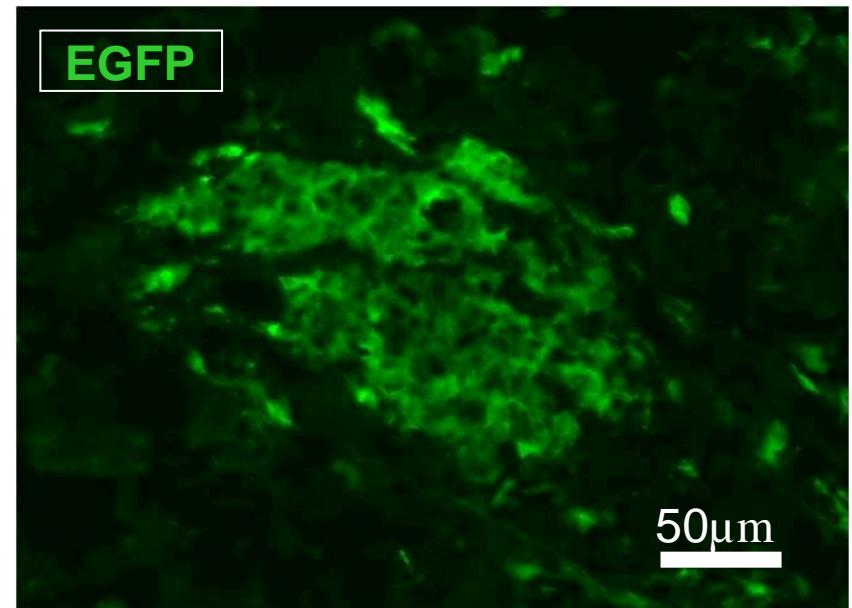
筋損傷モデル  
マウス



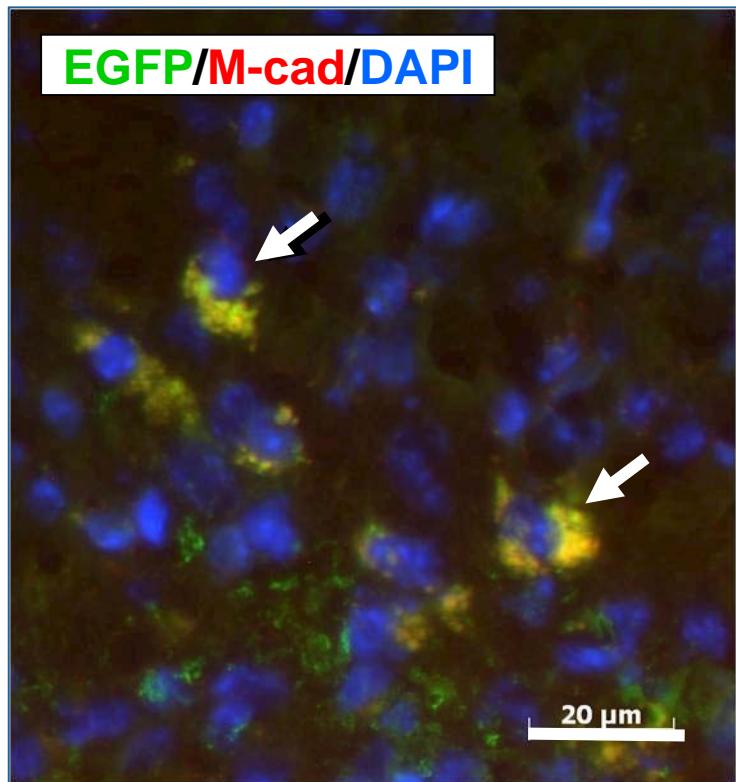
HE 染色  
(損傷前脛骨筋の横断切片)



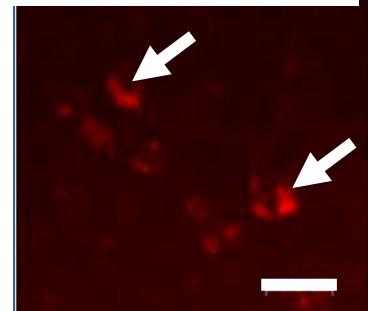
移植後1週間



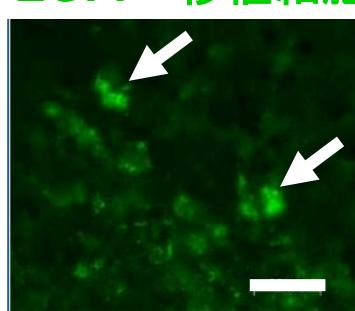
## M-cadherin(筋芽細胞)



M-cad 筋芽細胞

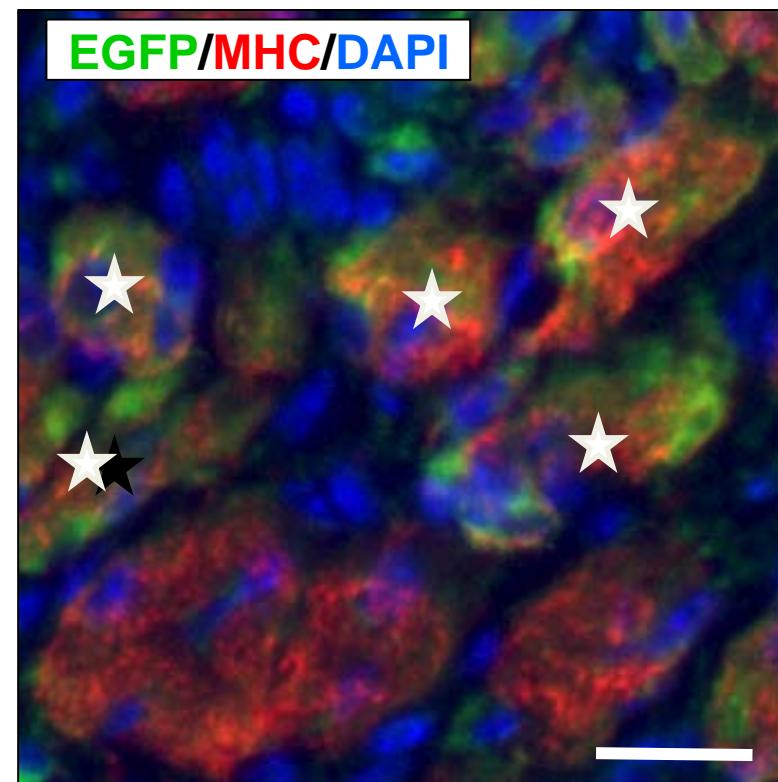


EGFP 移植細胞

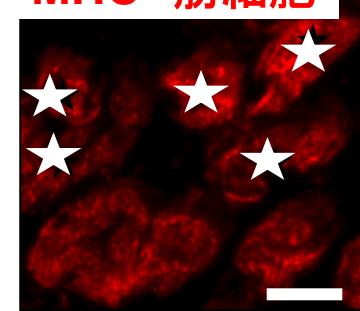


## MHC(筋細胞)

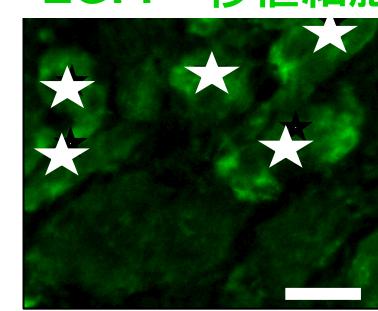
移植後1週間



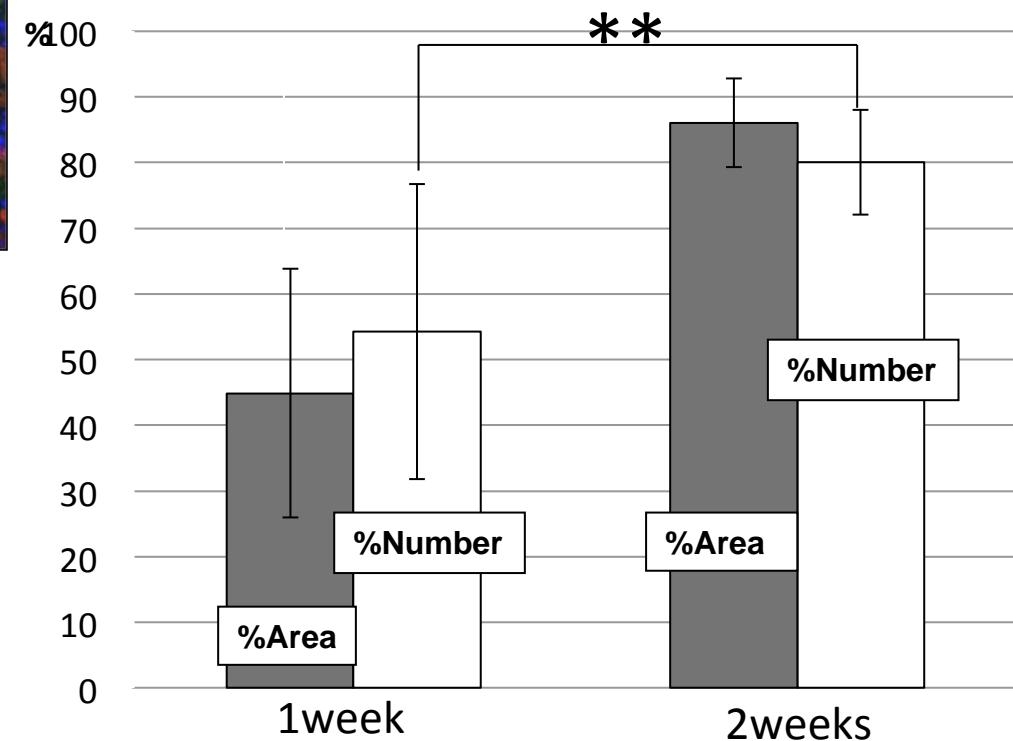
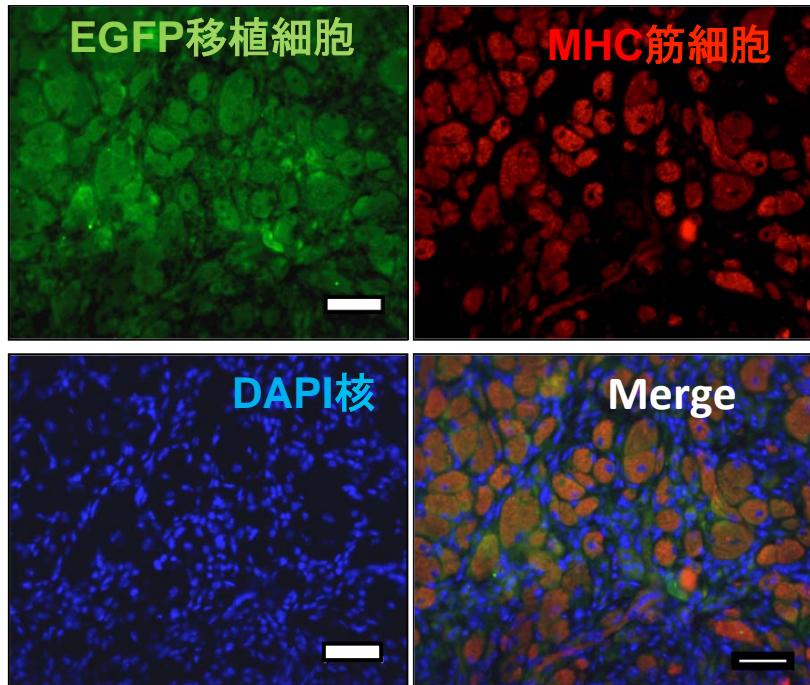
MHC 筋細胞



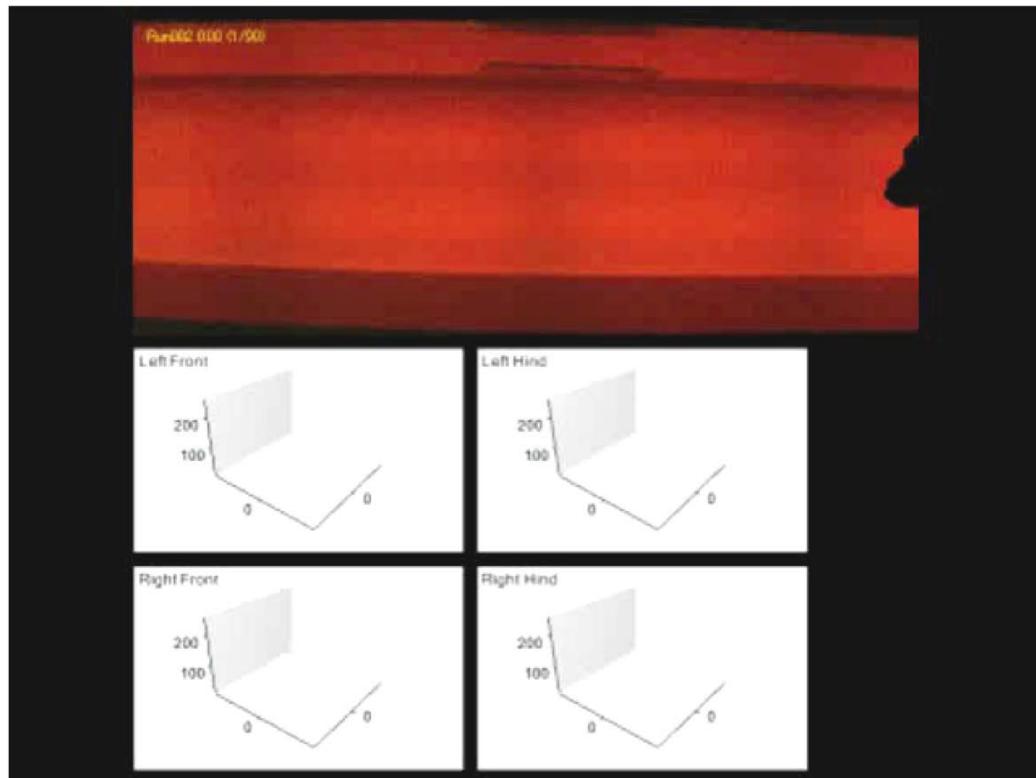
EGFP 移植細胞



# 間葉系幹細胞移植による筋再生

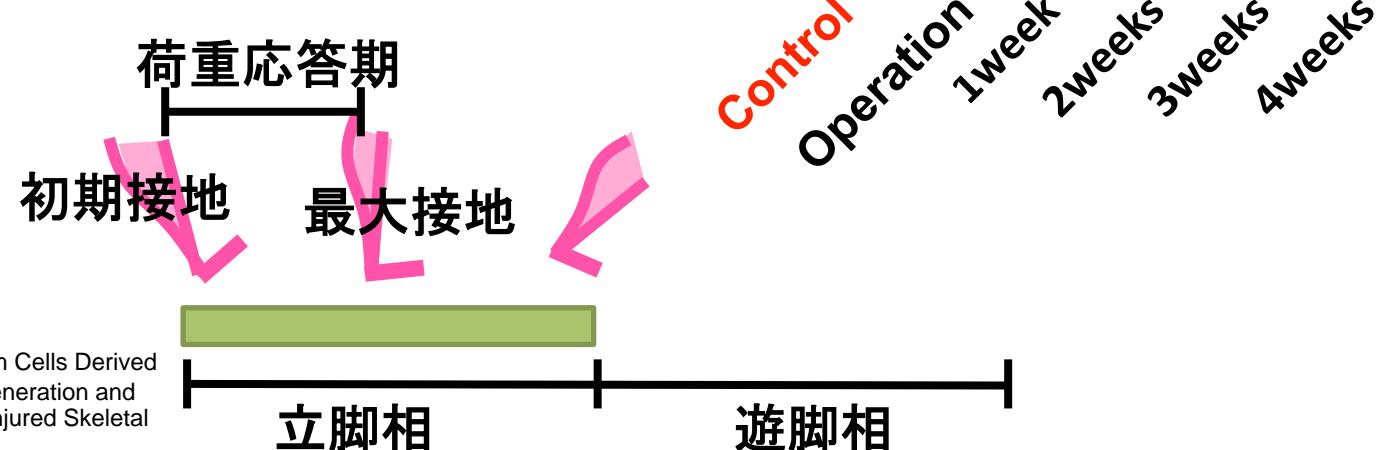
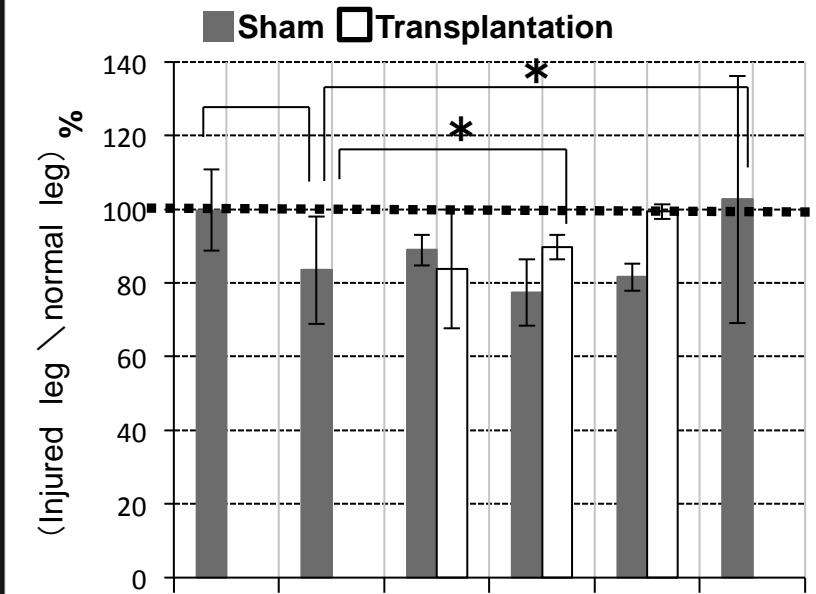


# 間葉系幹細胞移植による機能回復効果の検証



平田研究室（手の外科）

Percentage of load response phase



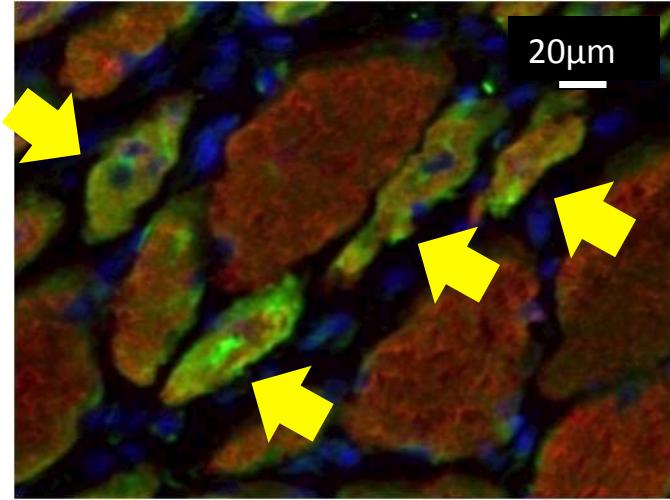
BioResearch Open Access  
2013年8月14日 2巻4号 295-306p

Nana Takenaka-Ninagawaa他

Transplantation of Mesenchymal Stem Cells Derived  
from ES Cells Promotes Muscle Regeneration and  
Accelerates Functional Recovery of Injured Skeletal  
Muscle

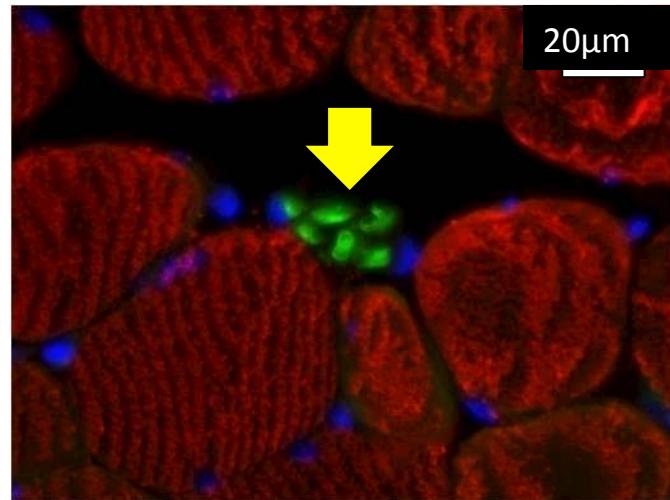
# 移植間葉系幹細胞の接着に必要な足場形成

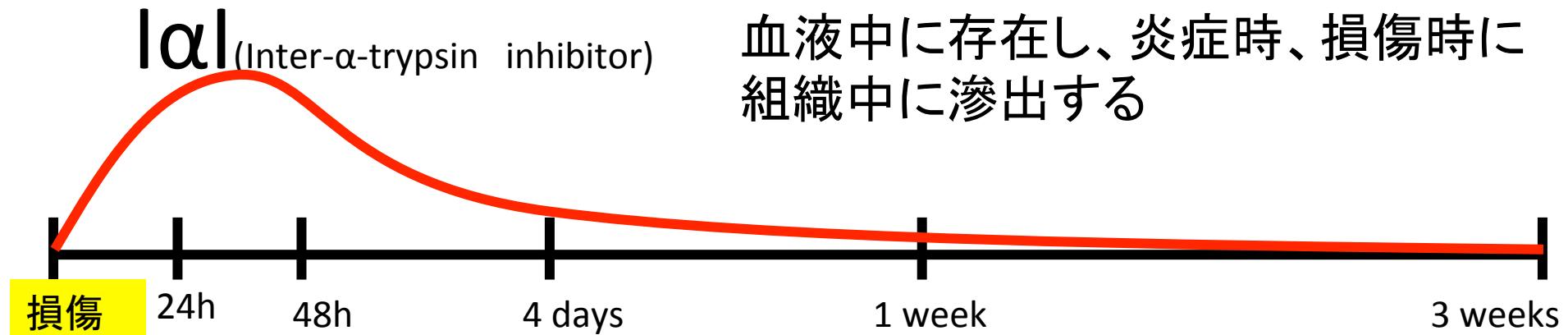
損傷筋に移植すると生着する



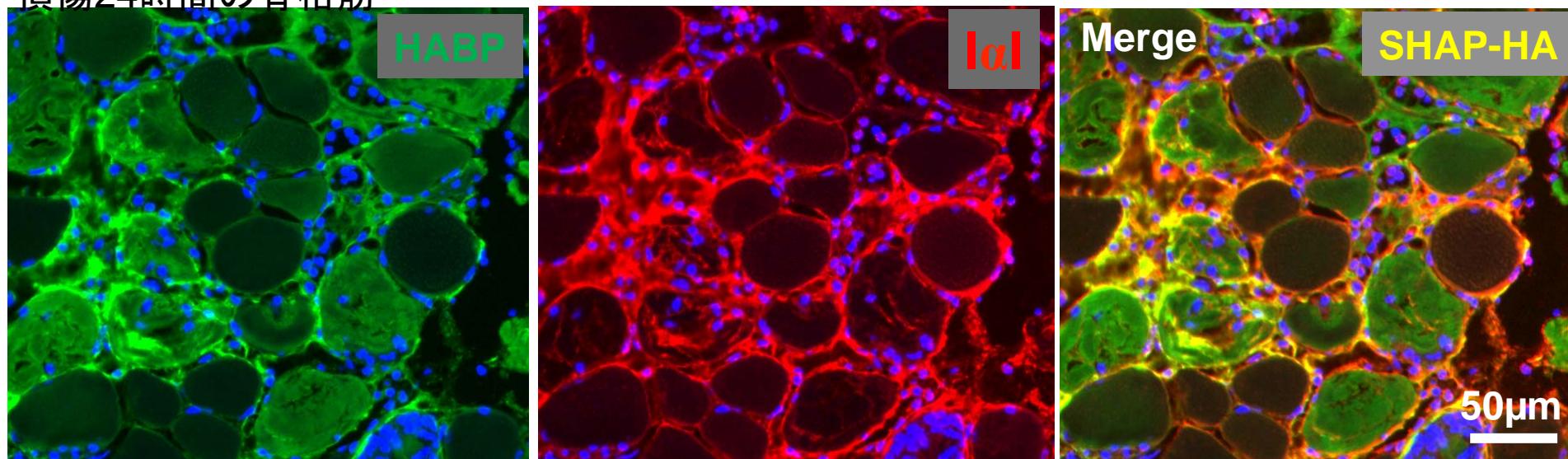
木全教授(愛知医大)  
生化学工業との  
共同研究

正常筋に移植しても生着できない

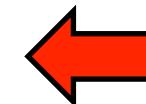
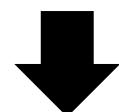




損傷24時間の骨格筋



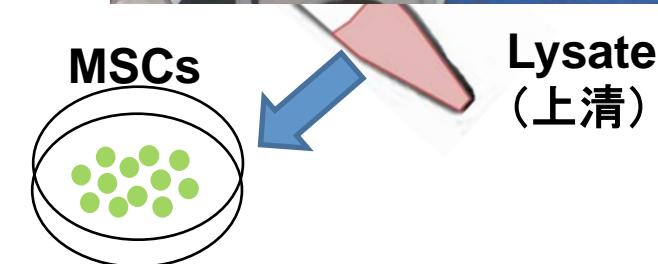
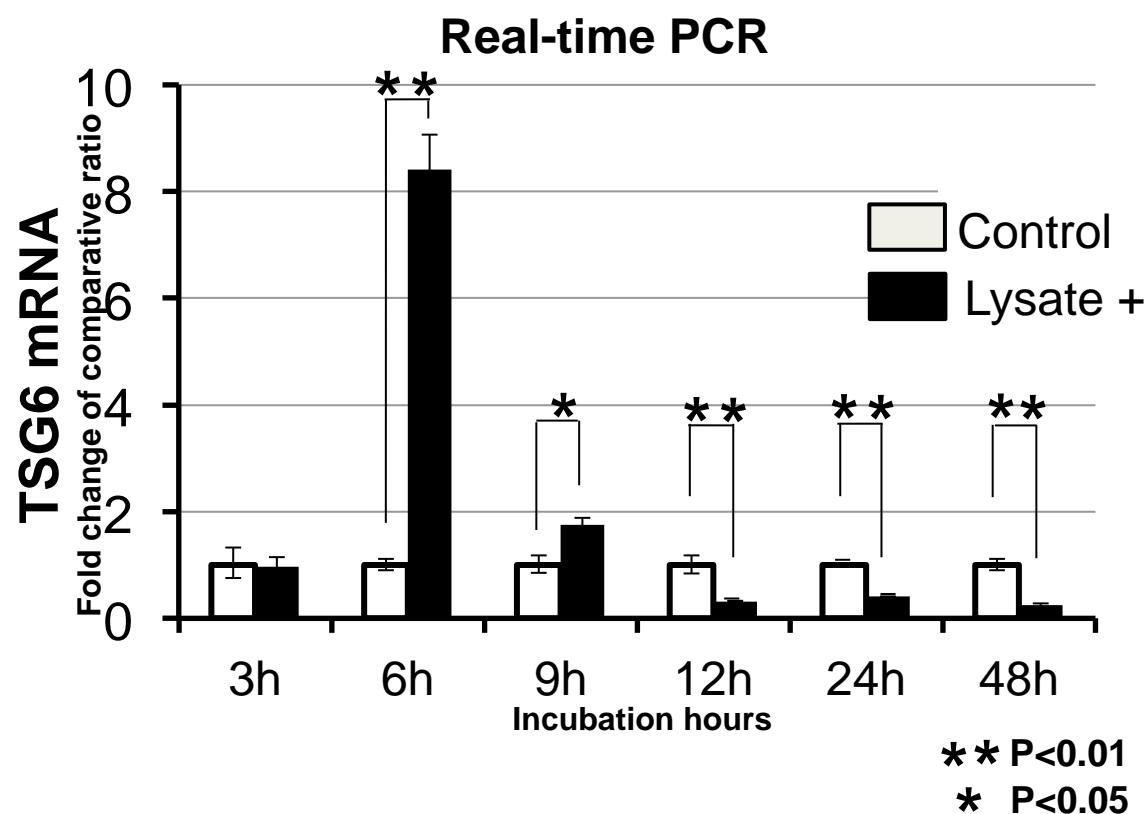
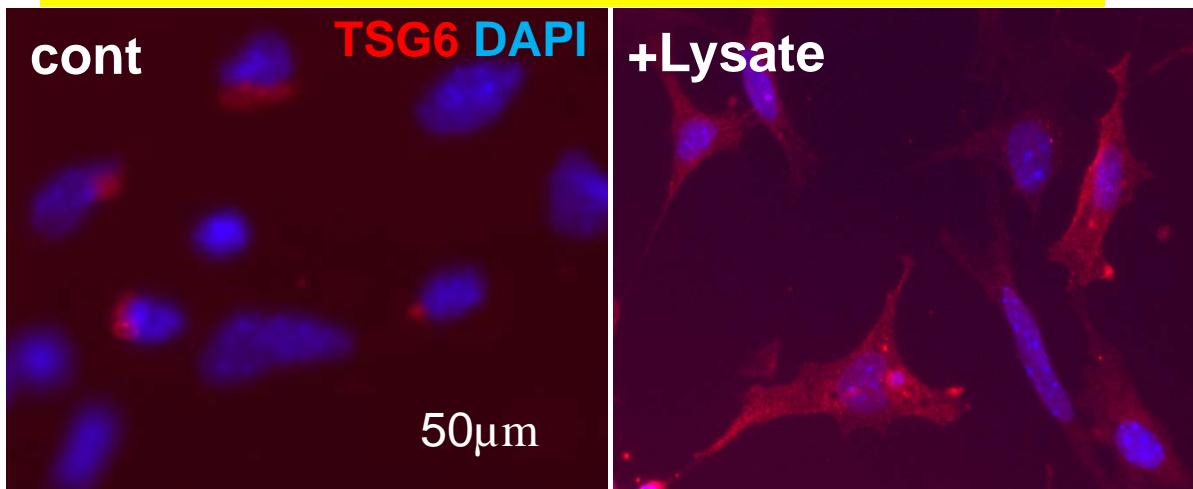
損傷筋では I $\alpha$ I は Hyaluronan-binding protein (HABP)と分布がほぼ一致する



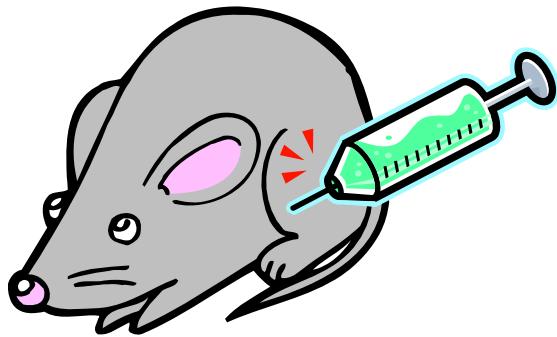
TSG6 (TNF -stimulated gene 6 product)が関わっている

Serum-derived hyaluronan-associated protein (SHAP-HA)の形成

# Lysateによる間葉系幹細胞の活性化

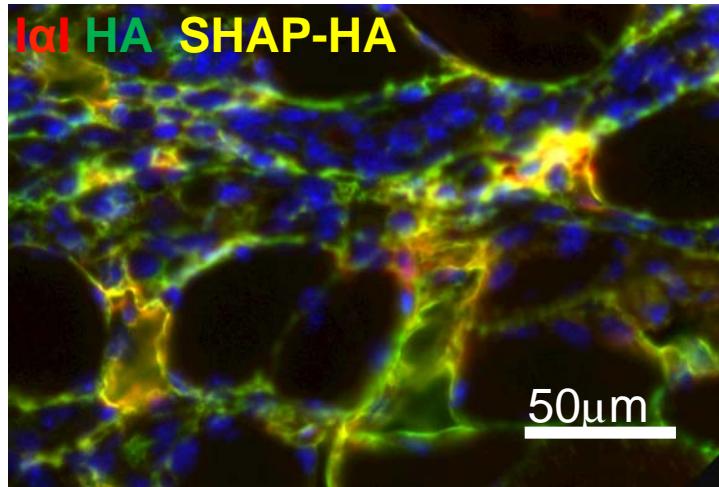


## TSG6の重要な役目

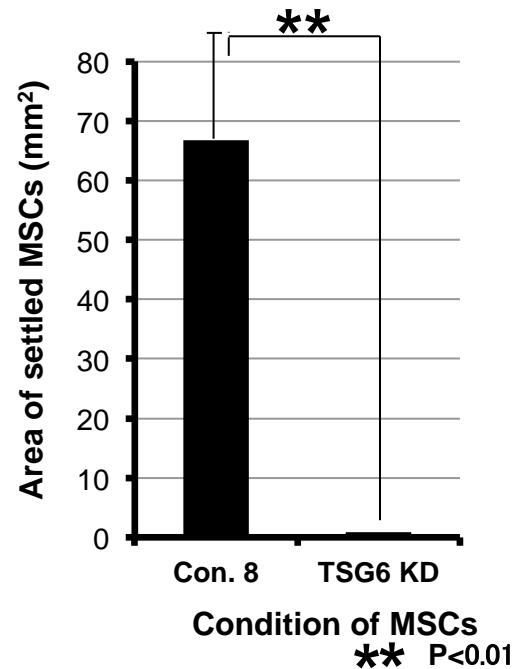
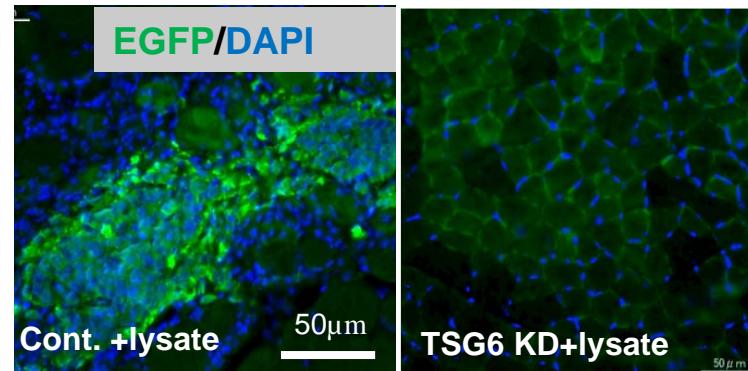


MSCsを正常な骨格筋へ移植し、生着できたのは

1. TSG6と共に移植した時
2. Myotubesの lysateと共に移植した時
3. Lysateで活性化したMSCsを移植した時



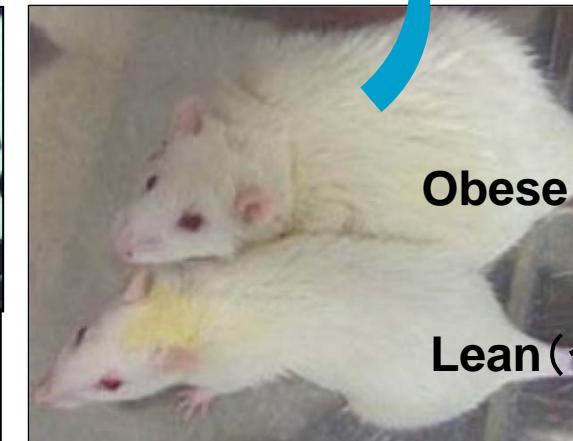
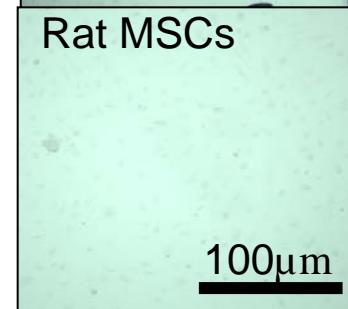
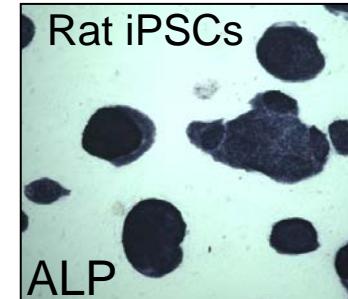
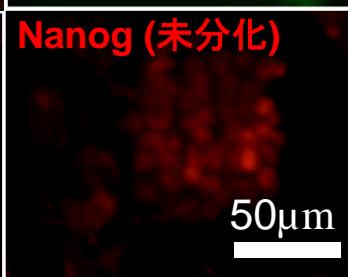
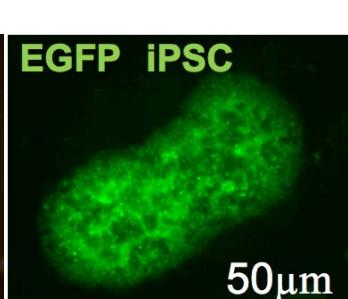
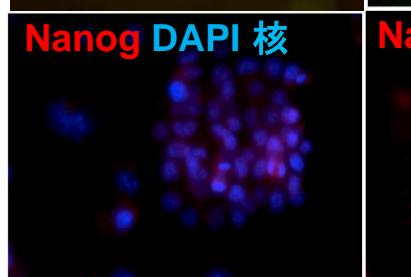
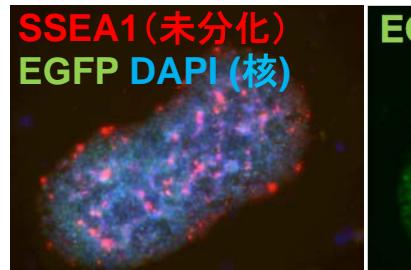
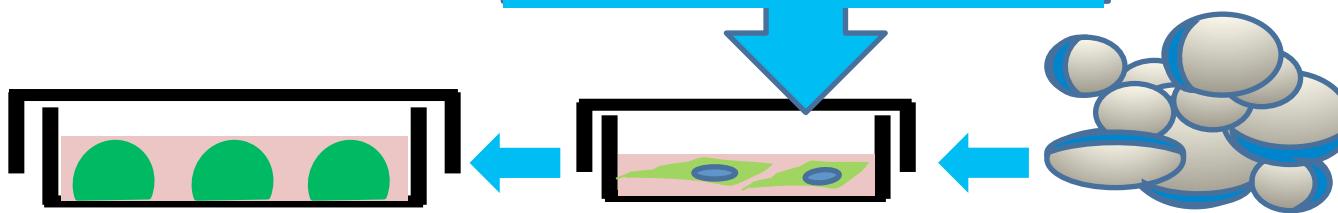
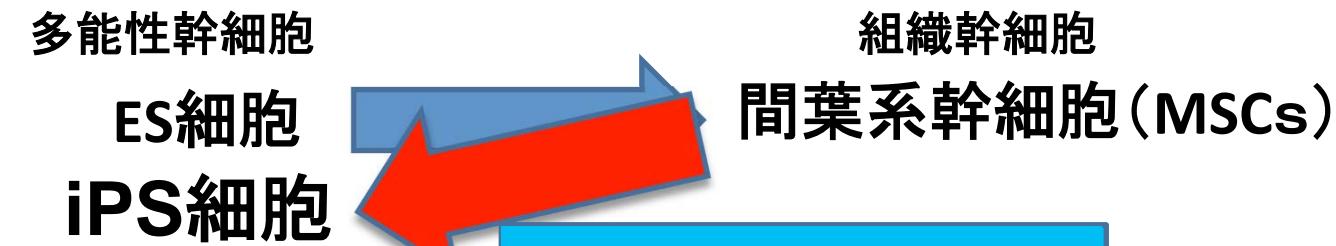
## TSG6 knockdown (sh mRNA)



MSCsはTSG6を産生、分泌し、SHAP-HAを形成し、これを足場として生着する

# ヒトのメタボモデルラットからiPS細胞を作る

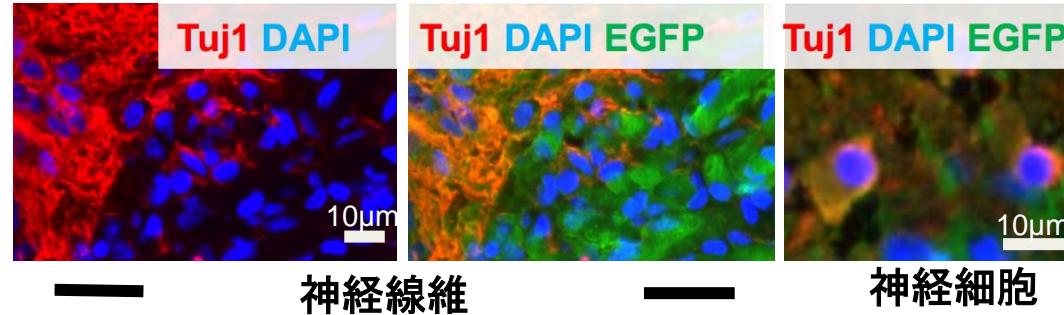
永田教授(医療技術学  
専攻)との共同研究



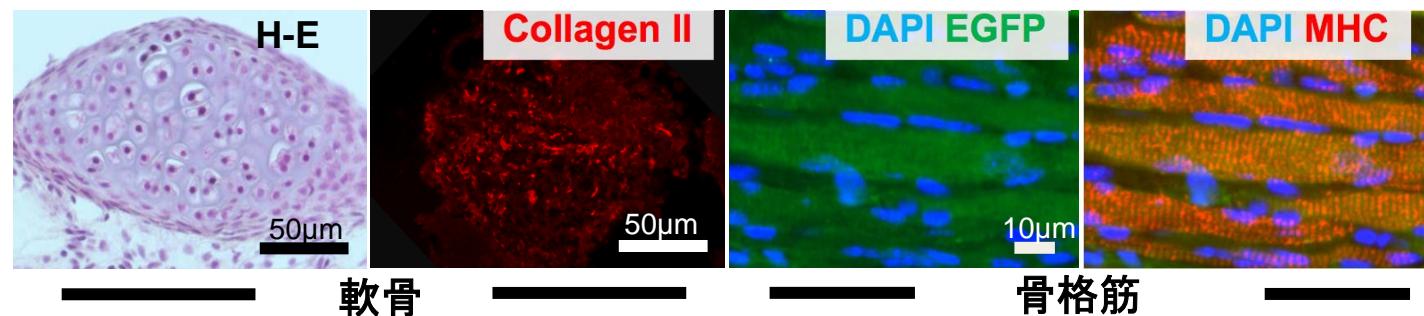
Leptin r 変異、食塩感受性

# 奇形腫形成能

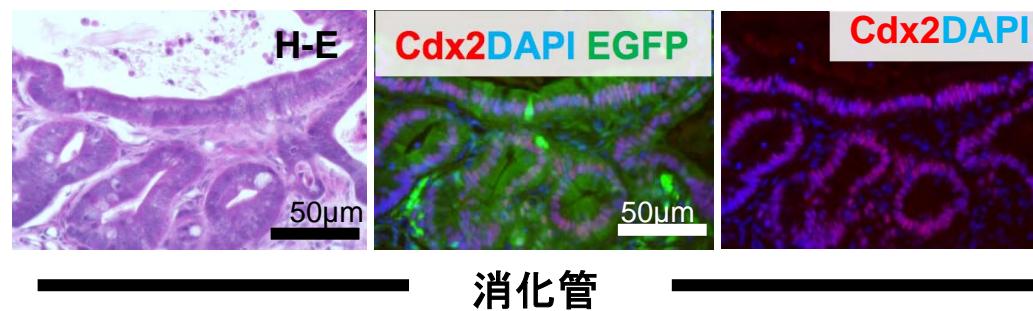
Nervous tissues  
(神經、外胚葉)



Mesenchymal tissues  
(間葉系細胞、中胚葉)



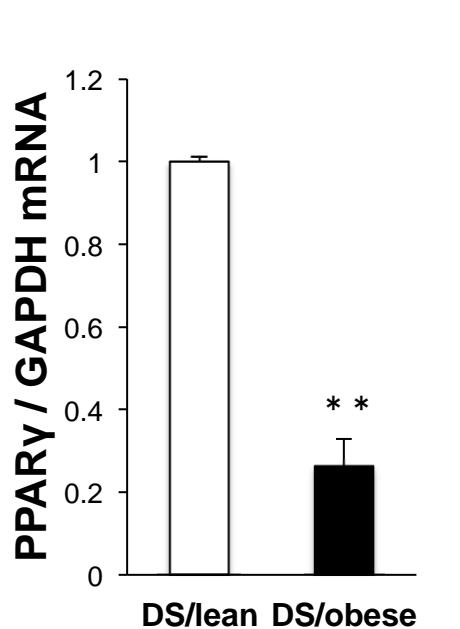
Endoderm tissues  
(内胚葉)



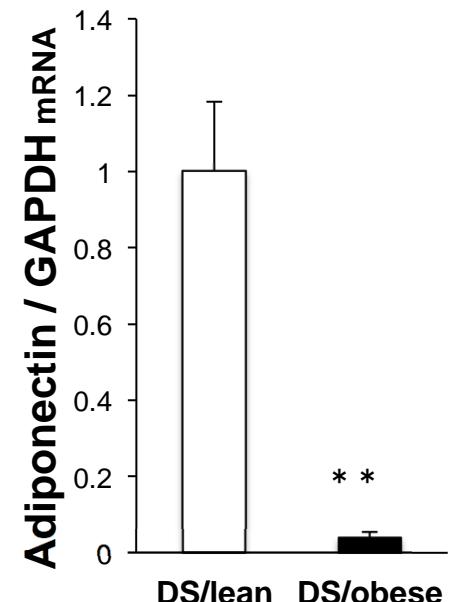
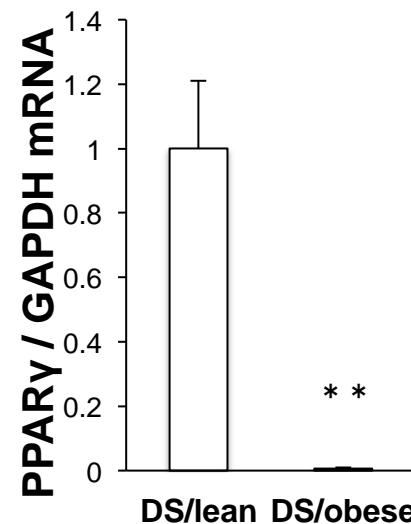
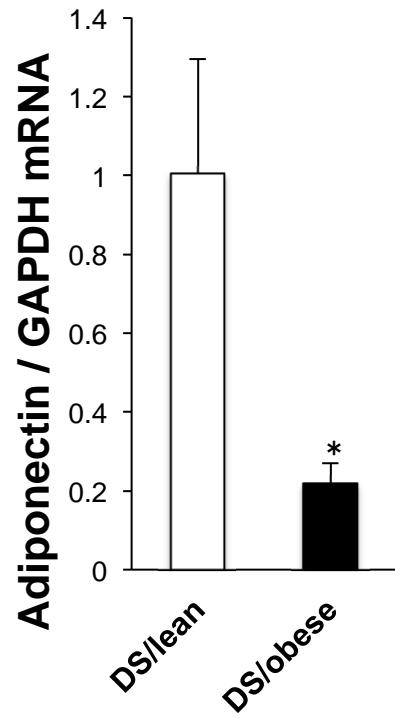
# 脂肪細胞の特性を示すmRNA発現は皮下脂肪細胞と類似

永田先生、渡邊先生との共同研究

iPS細胞由来脂肪細胞



ラット皮下組織脂肪細胞



— iPSCs —

— adipose tissue —

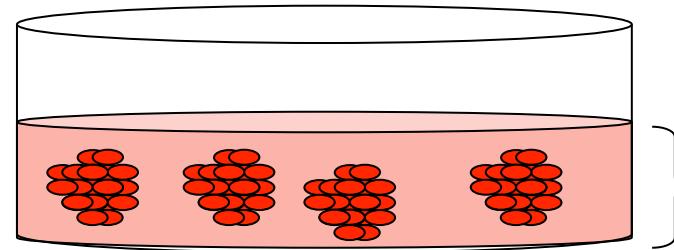
Real-time PCR

□ Lean(やせ)

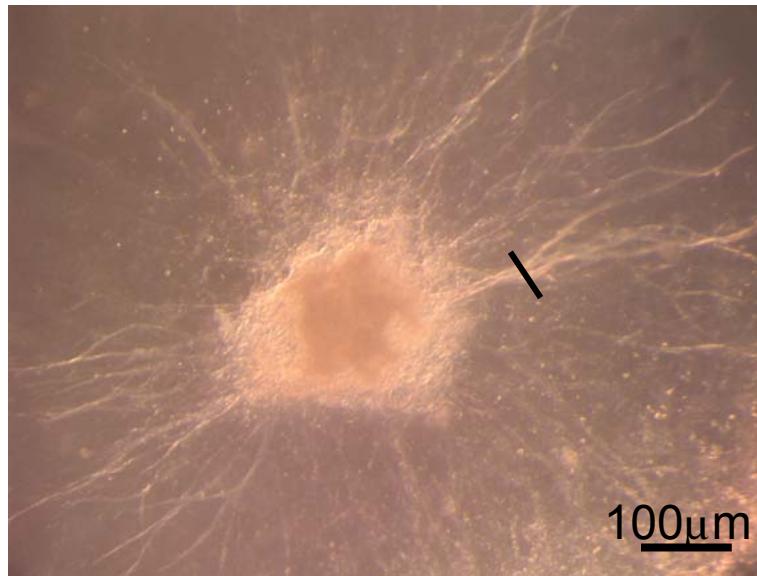
■ Obese(肥満)

### 3. ES細胞を用いた脈管形成の研究

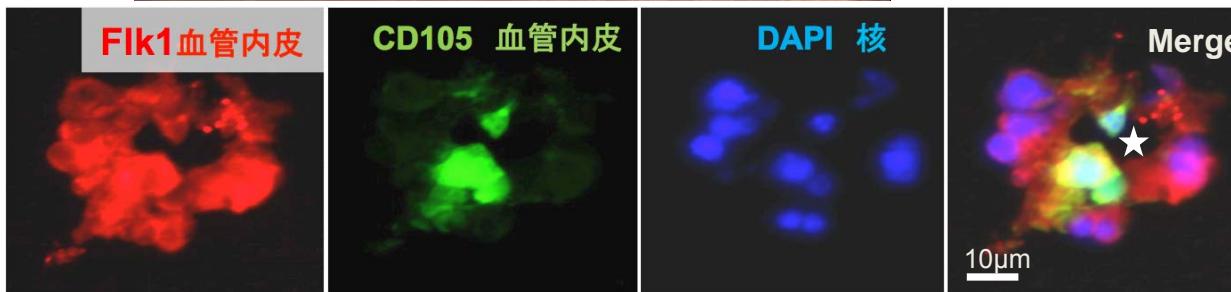
#### 三次元培養法の確立



**AteloCell**  
(Collagen gel)  
2.5~4mm



100 $\mu$ m



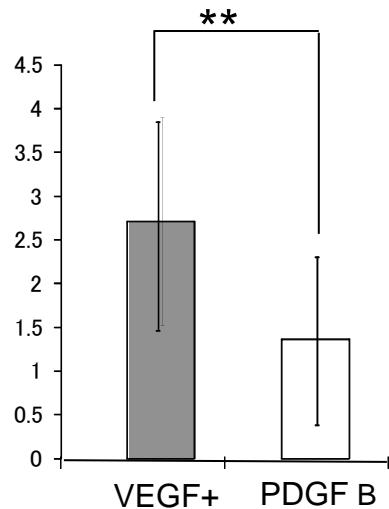
田中くん



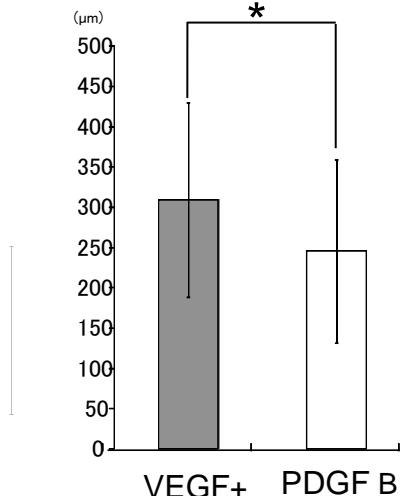
山本さん

# VEGFとPDGF-Bの脈管形成作用

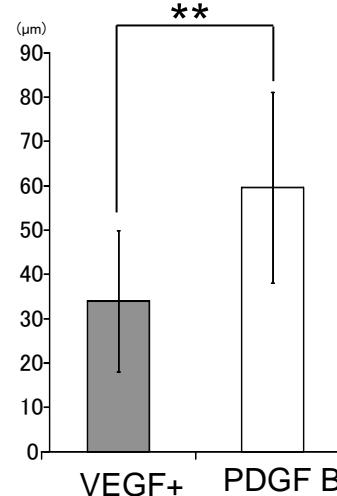
脈管の枝分かれ



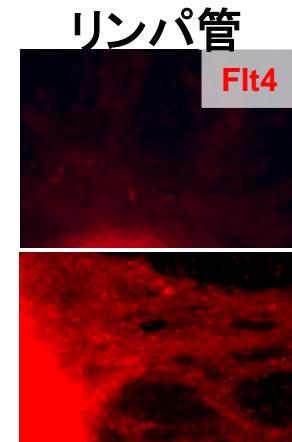
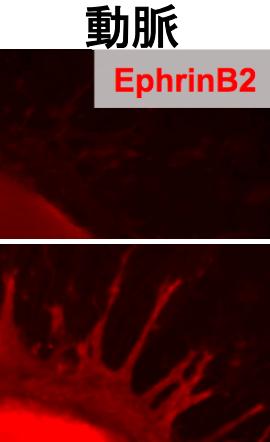
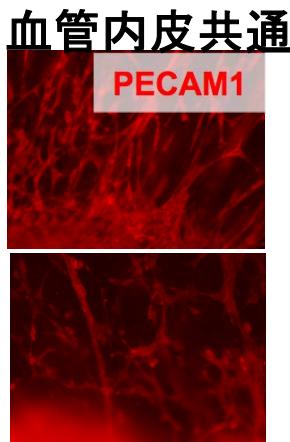
脈管の長さ



壁の厚さ



VEGFのみ



VEGFから BDGF-Bへ

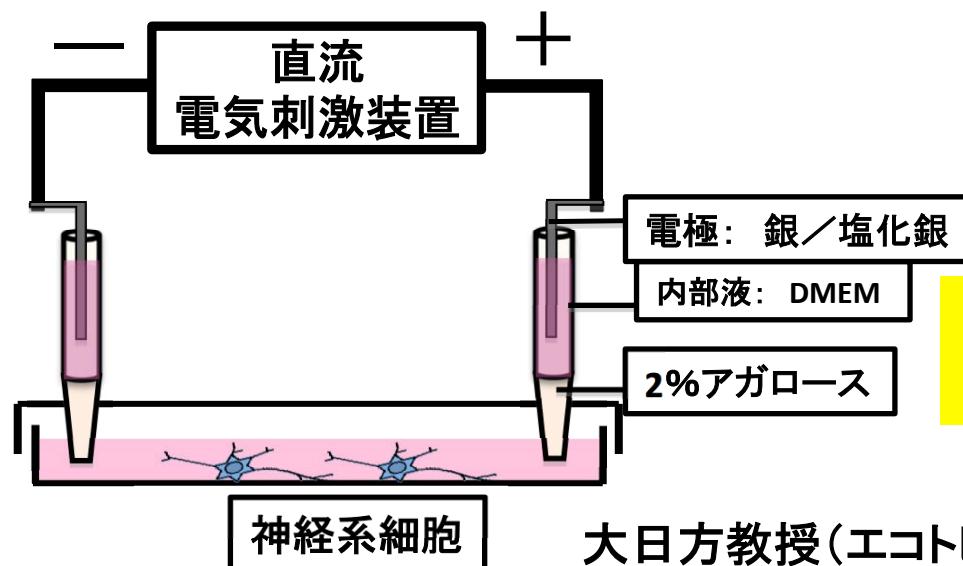
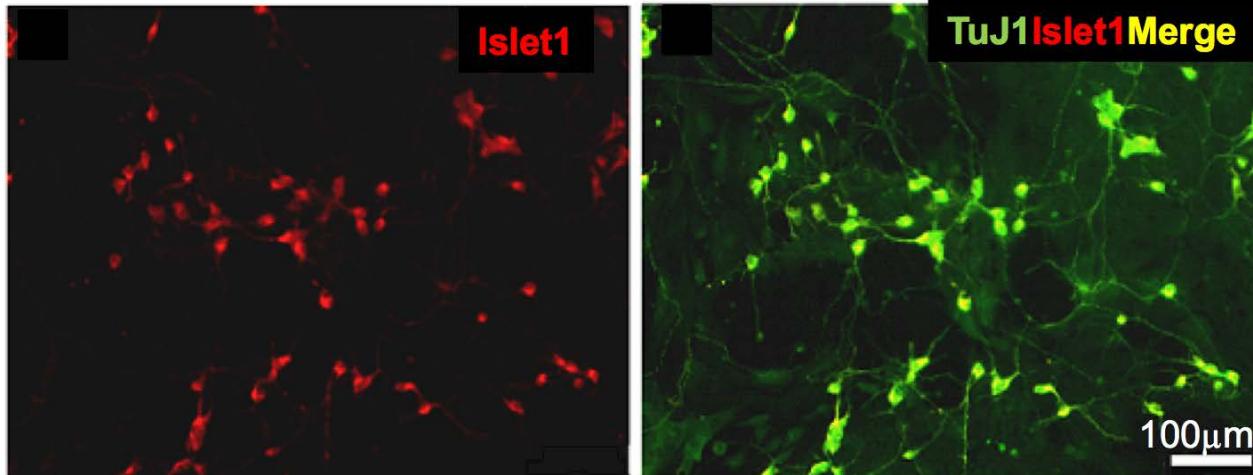
VEGFは主に血管新生に、PDGF-Bは血管の分化に関わる

Stem Cell Discovery 2012年2巻2号 70-77p Hitomi Hosoe他

Investigation of VEGF and PDGF signals in vascular formation by 3D culture models using mouse ES cells

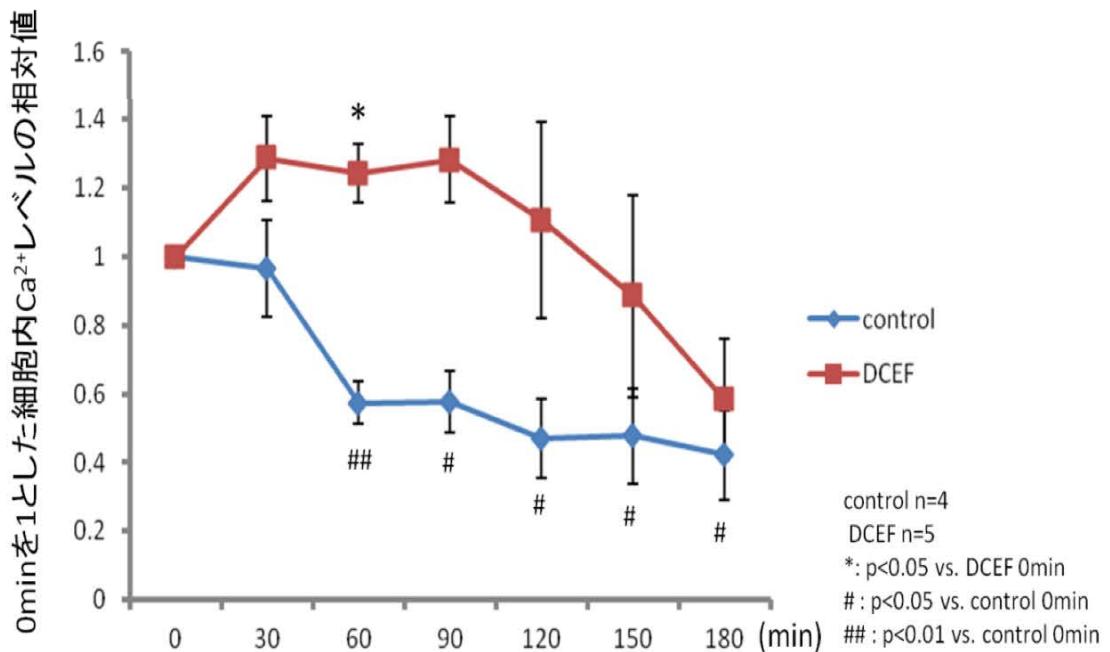
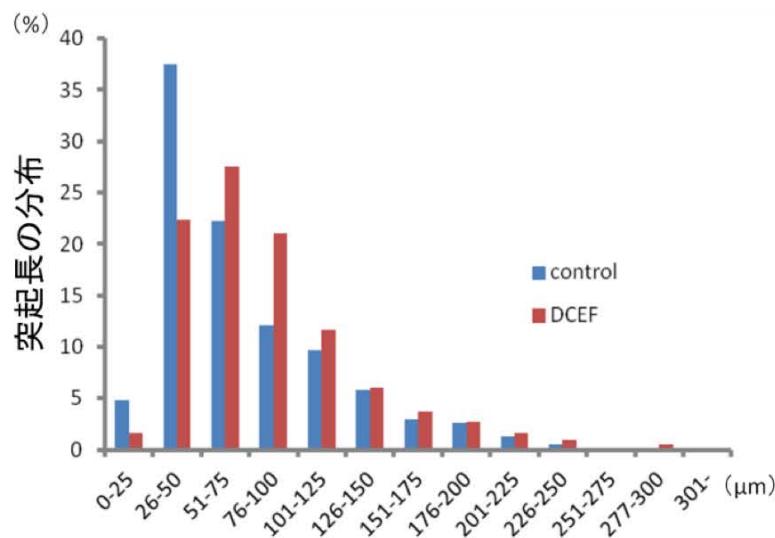
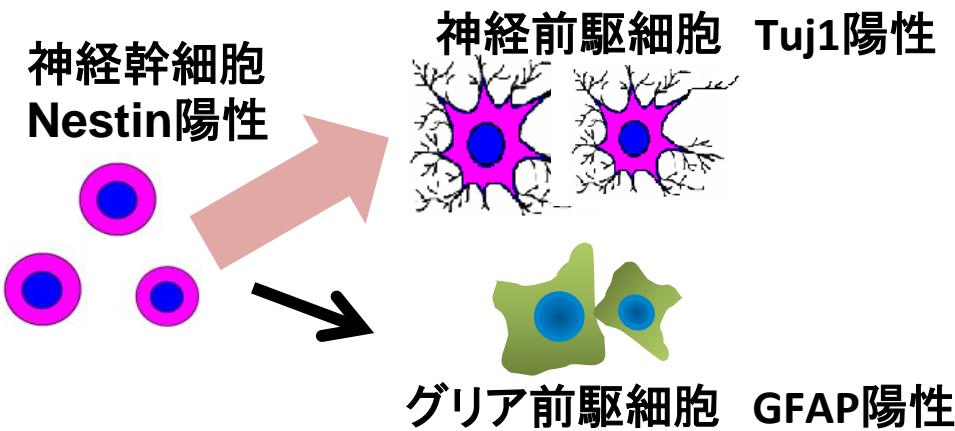
## 4. ES細胞を用いた神経系細胞分化の研究

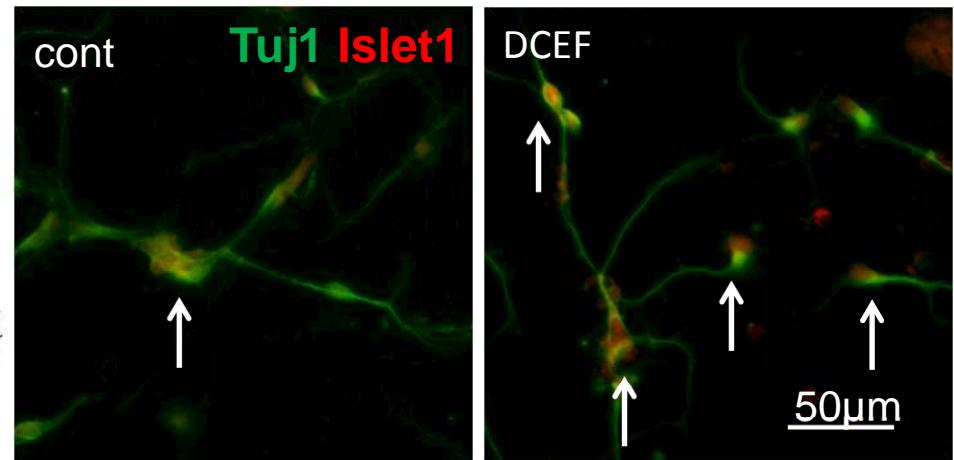
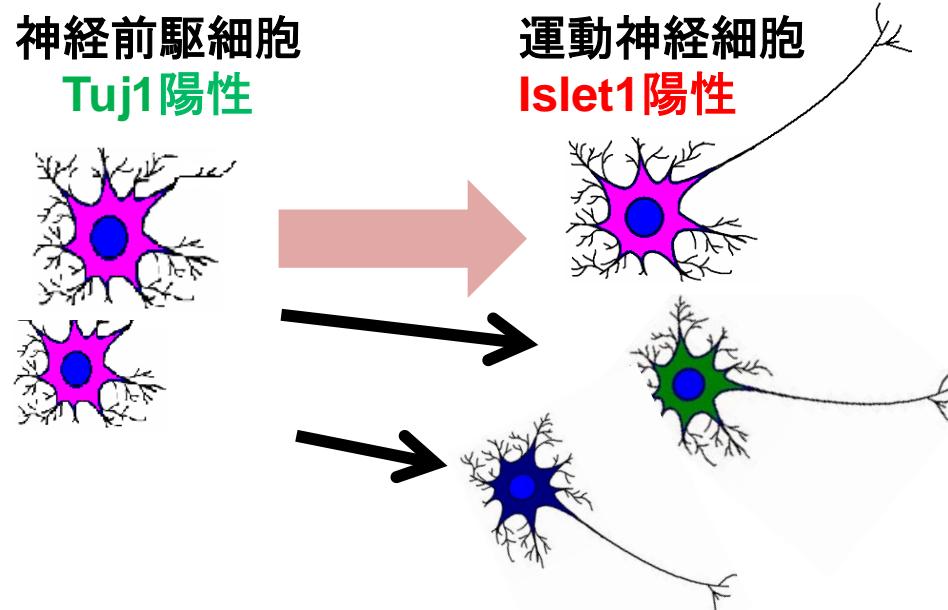
MACS(磁気ビーズ法)による神経幹細胞の分離と  
運動神経への分化誘導法の確立



細胞外直流電流負荷が神経系細胞  
の分化に与える影響

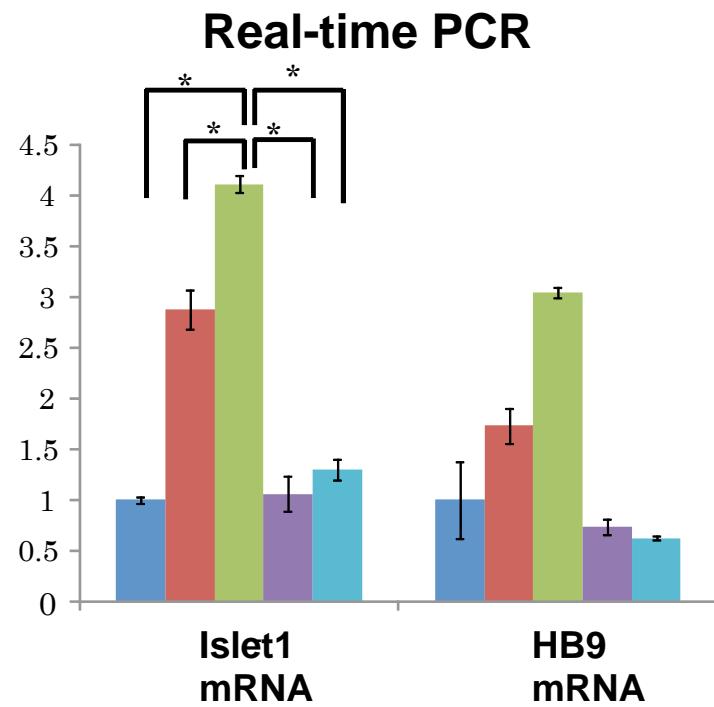
DCEF : 0.2mA 3hours/day



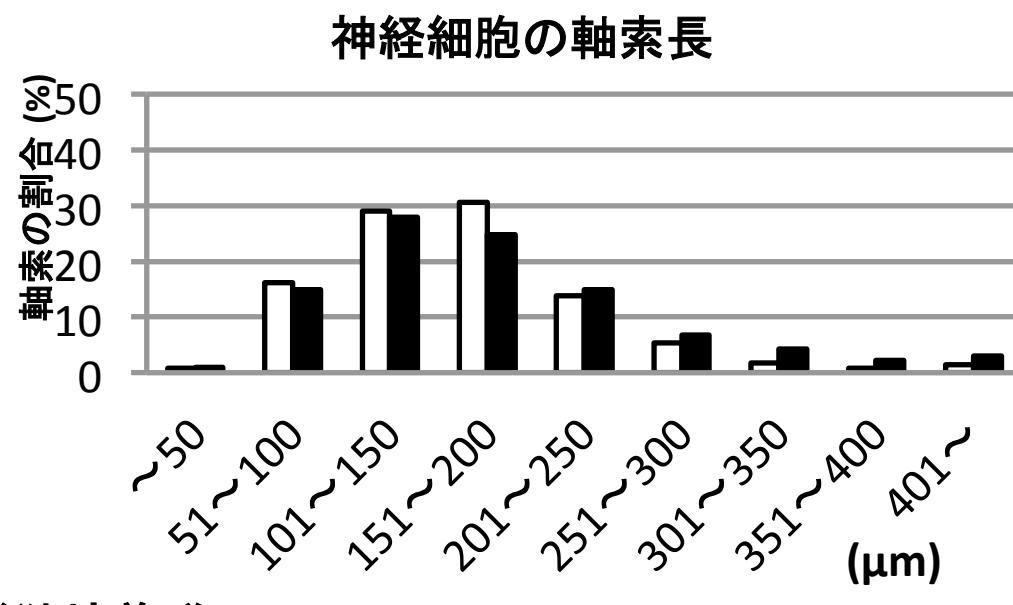
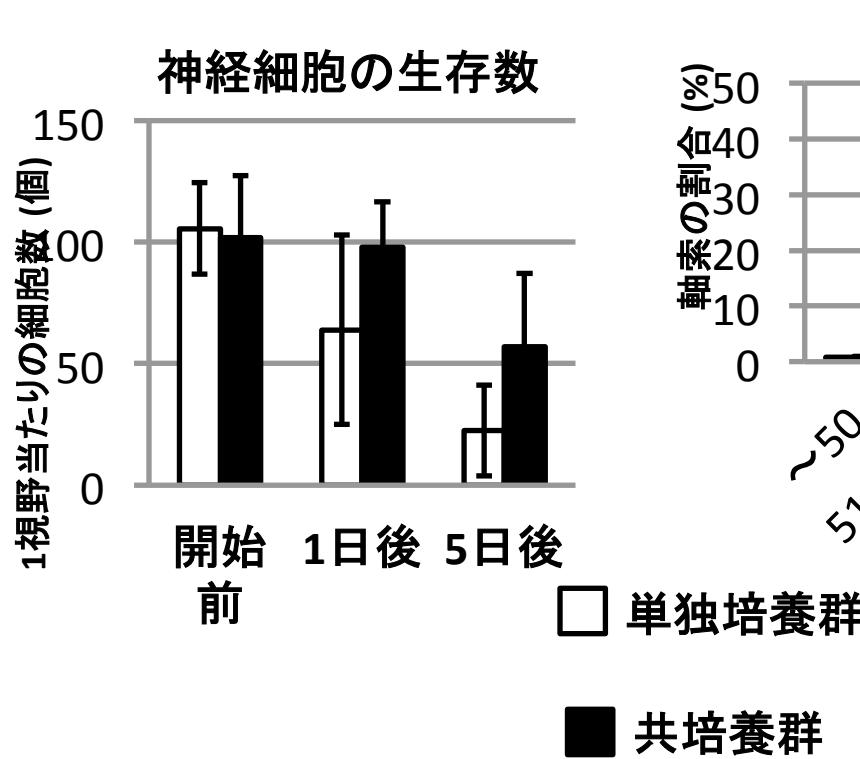
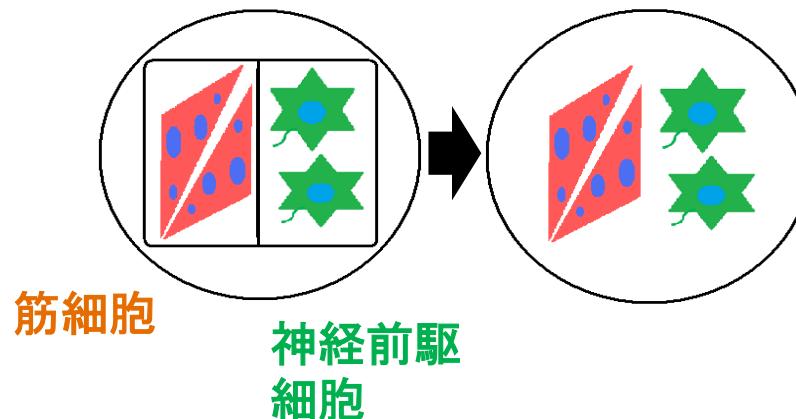
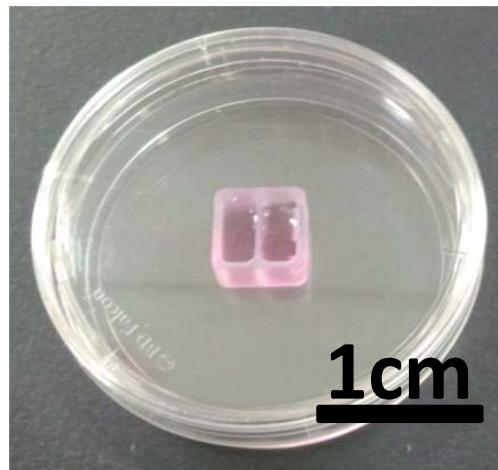


細胞外直流電流負荷は神経幹細胞、  
神経前駆細胞の分化に影響する

細胞内カルシウムシグナルの関与が  
考えられる



## 運動神経細胞と骨格筋細胞の分化過程における相互作用



## 骨格筋細胞が産生する神経栄養因子は共培養で増加する

PCR

単独培養群 共培養群

GDNF



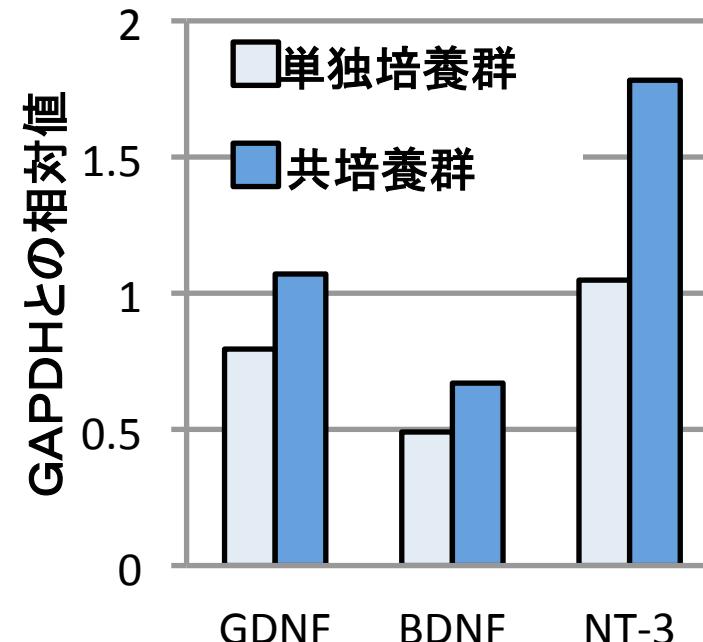
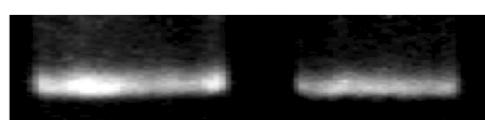
BDNF



NT-3

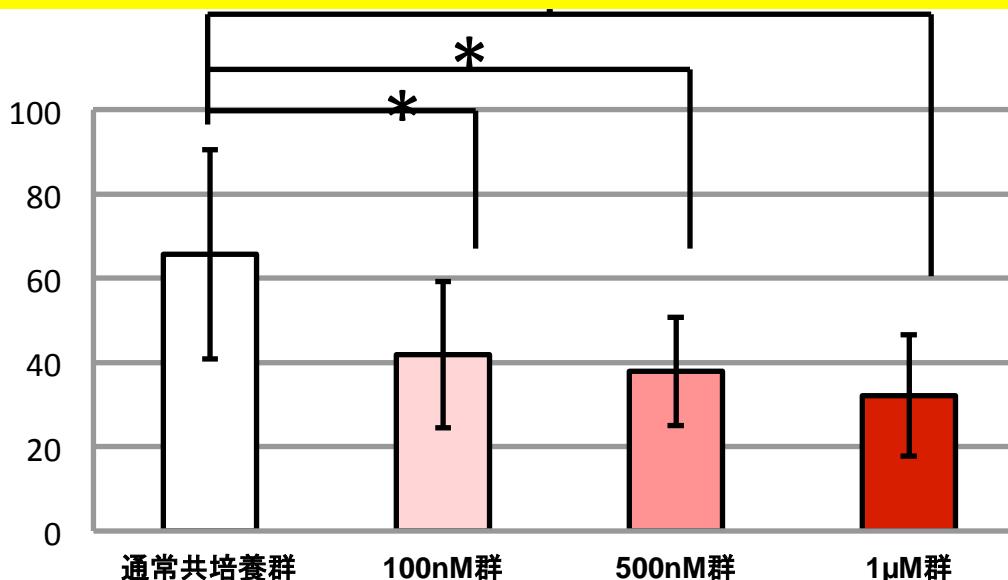


GAPDH



## 受容体の阻害剤(K252a)は神経細胞の生存数を減少させる

1視野あたりの細胞数(個)



\* P<0.05



